

## 代表質問

## 質問と答弁の概要をお知らせします



## 政友会



(質問者：渡邊 澄夫 議員)

「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」の実現に向けて

**問** 発展的で持続可能な目標設定や古河市の成長戦略について、施政方針の重点施策の中から地域活性化の推進に関連する取り組みへの道筋や課題、問題点などについて伺う。

**答 (市長)** 地域活性化の推進については、官民連携による新た

なテレワーク施設の支援、西口エリア魅力創出、住友商事株式会社との連携協定等がある。都市間競争が激しくなる中で、官民連携により、課題解消や新たな機能の導入の可能性も含めて、今後も検討を進め、市の魅力を発信しながら地域創生を推進していきたい。

「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」に向けて

**問** スポーツのまちづくりとしてサッカー場を含めたスポーツ施設、および(仮称)新公会堂の整備、大きく2点について伺う。

**答 (市長)** サッカー場を含めたスポーツ施設の整備は、安心安

全を最優先に、緊急性のある施設から対応している現状がある。今後は財源確保を含め全体的な計画を立て具体的なスケジュールを示していきたい。(仮称)新公会堂は、基本構想、計画の策定に当たっては、市民に求められている役割や機能を整理して、計画に反映していく。市民の皆さまと一緒に親しまれる施設になるようスピード感を持って取り組んでいきたい。



## 市民ベースの会



(質問者：倉持 健一 議員)

健康福祉「互いに支え合う古河(まち)をつくる」

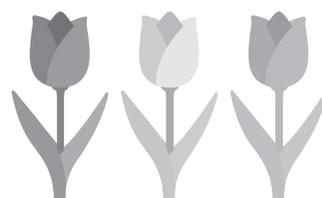
**問** ①地域の子どもの困り事をつなぐネットワーク形成において、官民連携はもとより、「人・物・金・場所」が必要である。人的支援、助成金や公共施設の提供について伺う。②子どもの貧困、ヤングケアラー問題の解決や包摂社会の実現をどのように目指すのか所見を伺う。

**答 (市長)** ①市の支援は、公共性や公平性、効果性の観点から、民間団体の取り組みや内容を双方による協議の上で、総合的に判断していきたい。②支援者が積極的に現場に出向いて丁寧にアセスメントすることが重要である。地域全体で子どもたちを支援できる包摂社会の実現を目指す。

教育文化「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」

**問** ①インクルーシブ教育の実践、特別な配慮を要する児童生徒(医療的ケア児・者を含む)の就学前・後の相談受け入れ体制(要綱やガイドライン作成等)や、②特別支援学校との連携はどのように行うのか伺う。

**答 (教育長)** ①就学相談は随時実施し、学校の学習環境を把握した上で保護者と合意形成を図り、適切な就学に向け助言を行っている。インクルーシブ教育の理念に基づいた合理的配慮や個に応じた適切な学習環境を整えられるよう、医療的ケアに関する要綱やガイドラインの作成を進めている。②随時情報共有をしており、特別な配慮を要する児童生徒に対し、教育委員会としてしっかりと取り組んでいく。



《その他の質問》

・3つの重点施策ほか